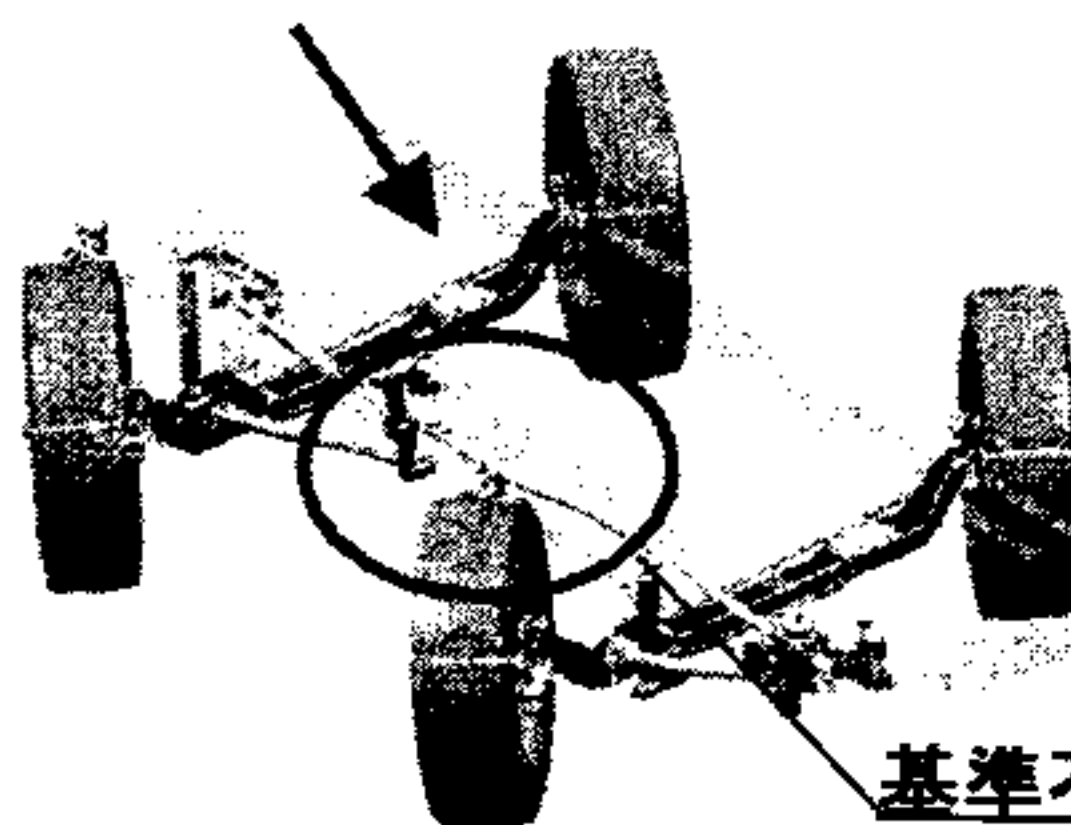
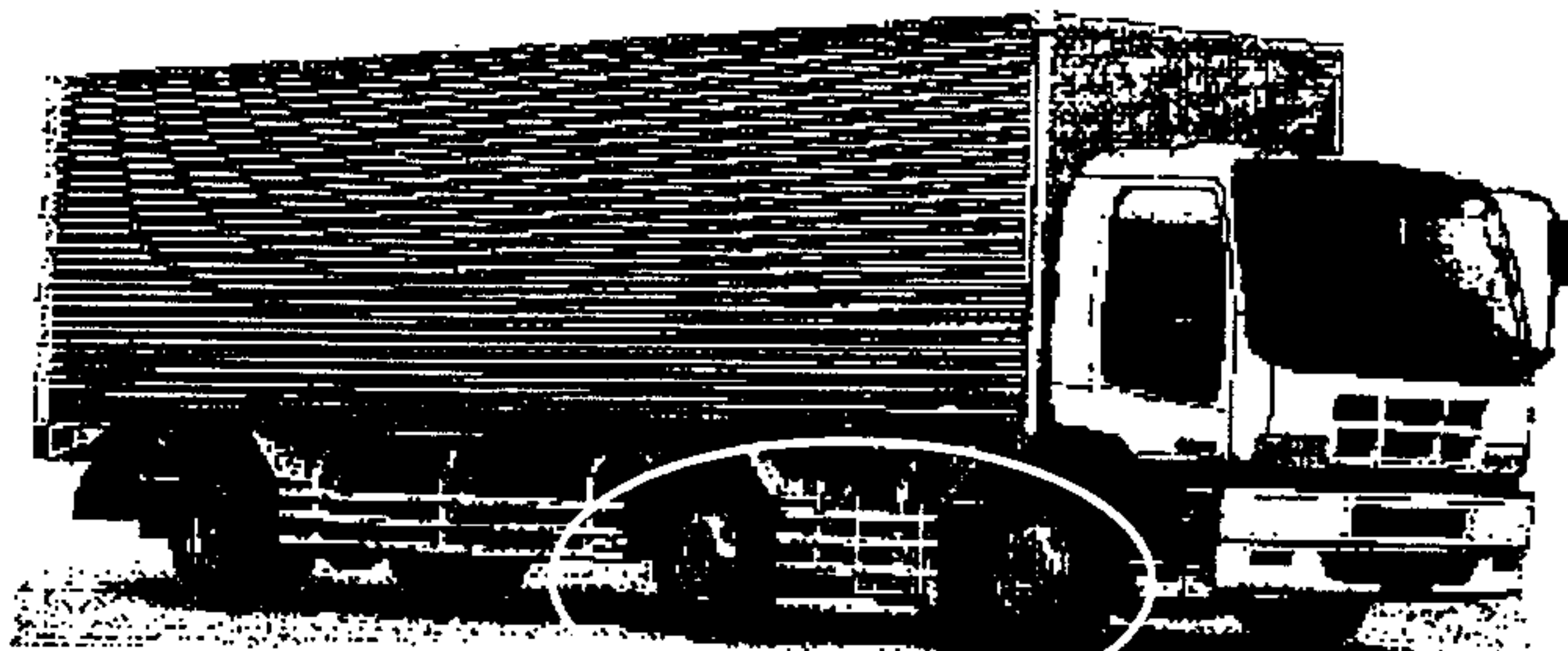


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

①



リンクロッド

②



ブレーキパイプ

前2軸車において、

- ①リンクロッドの形状が不適切なため、ハンドルを最大限まで切った状態で段差を通過した場合、当該ロッドがタイヤと接触することがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、最悪の場合、ロッドが折損し、確実な操舵ができなくなるおそれがある。
- ②ブレーキパイプの形状が不適切なため、ハンドルを最大限まで切った状態で段差を通過した場合、当該パイプがタイヤと接触することがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、当該パイプが損傷し、最悪の場合、パイプが破損し、エアが漏れて制動力が低下するおそれがある。

改善の内容: ①全車両、リンクロッドを対策品と交換し、タイヤ切れ角ストッパを調整する。
 なお、一部の車両について、上記の変更のみでは、リンクロッドがブレーキパイプ及びパワーステアリングオイルパイプと干渉するため、併せて、形状変更した対策品と交換する。
 ②全車両、ブレーキパイプを対策品と交換する。

識別: リンクロッドに黄色ペイントを塗布する。